

日本初^{※1}の「糖質ゼロ」^{※2}ビール、当社過去10年のビール新商品で最速記録！
「キリン一番搾り 糖質ゼロ」、
半年足らずで累計300万ケース^{※3}突破！
～「一番搾り製法^{※4}」のおいしさ×「ビールで糖質ゼロ」で絶好調！～

キリンビール株式会社（社長 布施孝之）は、国内で初めて^{※1}ビールで「糖質ゼロ」^{※2}を実現し、2020年10月6日（火）に発売した「キリン一番搾り 糖質ゼロ」の販売数量が、発売から約半年となる3月下旬時点で当社過去10年のビール新商品で最速となる累計300万ケース^{※3}を突破しました。今年1～3月の販売数量も年初計画の約3割増、4月の製造予定も年初計画の約6割増と好調に推移しています。

※1 ビールで糖質ゼロを実現した国内で初めての缶商品(Mintel GNPDを用いた当社調べ)

※2 100ml当たり糖質0.5g未満のものに表示可能(食品表示基準による)

※3 大びん換算

「キリン一番搾り 糖質ゼロ」は、「一番搾り製法^{※4}」による“雑味のない澄んだ麦のうまみ”と、約5年の歳月をかけて350回以上の試験醸造を重ね、キリンビールの技術力を結集させることで、国内で初めてビールで「糖質ゼロ」を実現した商品です。お客様からは「一番搾り製法」由来のおいしさと「糖質ゼロ」という価値を高く評価いただき、「おいしさ」という価値によって顕在化した「糖質ゼロビール」に対する潜在需要に応じています。またコロナ禍による生活環境の変化や、酒税改正で減税されて高まるビールカテゴリーへの関心を捉えた施策を展開することで、販売増を実現しています。

※4 麦汁ろ過工程において最初に流れ出る一番搾り麦汁を使う製法

■ 好調の要因

1、「一番搾りブランド」のおいしさへの納得

当商品購入者のうち、5割以上が「一番搾りブランドだから」、約4割が「一番搾り製法だから」を飲用理由^{※5}にあげており、「一番搾りブランド」だからこそ「おいしさ」が納得され、選ばれています。

※5 キリンビール調べ

2、糖質ゼロビールに対する潜在需要を「おいしさ」で顕在化

当商品購入者のうち、約6割が普段糖質オフ・ゼロ系ビール類以外を飲む方^{※6}からの流入でした。ビールの糖質は気になるが、糖質オフ・ゼロ系のビール類にはおいしさの面で不満を抱えていたお客様の「糖質ゼロビール」への潜在需要を「おいしさ」という価値によって、顕在化することができました。

※6 発売前後3カ月間での飲用実態による(インテージ SCI)

3、外部環境変化を捉えた提案

コロナ禍による健康志向の高まりで、糖質を気にする方が増えており、糖質オフ・ゼロ系ビール類は好調に推移しています。また酒税改正によってビールカテゴリーが減税され、お客様のビールカテゴリーに対する関心が高まっています。当社は、お客様のニーズを捉えた施策を展開し、環境変化に適切に対応することで、販売増を実現しています。

キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

記

- | | |
|------------|----------------------------|
| 1. 商品名 | 「キリン一番搾り 糖質ゼロ」 |
| 2. 発売地域 | 全国 |
| 3. 容量・容器 | 350ml 缶、500ml 缶 |
| 4. 価格 | オープン価格 |
| 5. アルコール分 | 4% |
| 6. 酒税法上の区分 | ビール |
| 7. 販売予定数 | 約430万ケース(55,000KL) ※大びん換算 |
| 8. 製造工場 | キリンビール取手工場、名古屋工場、岡山工場(3工場) |



以上